

セグエグループ株式会社

2018年12月18日



証券コード **3968**

- **事業環境**
- **事業概要**
- **来期以降の展望**

情報セキュリティにフォーカスしている会社

国内の情報セキュリティ市場の成長率 5.1%

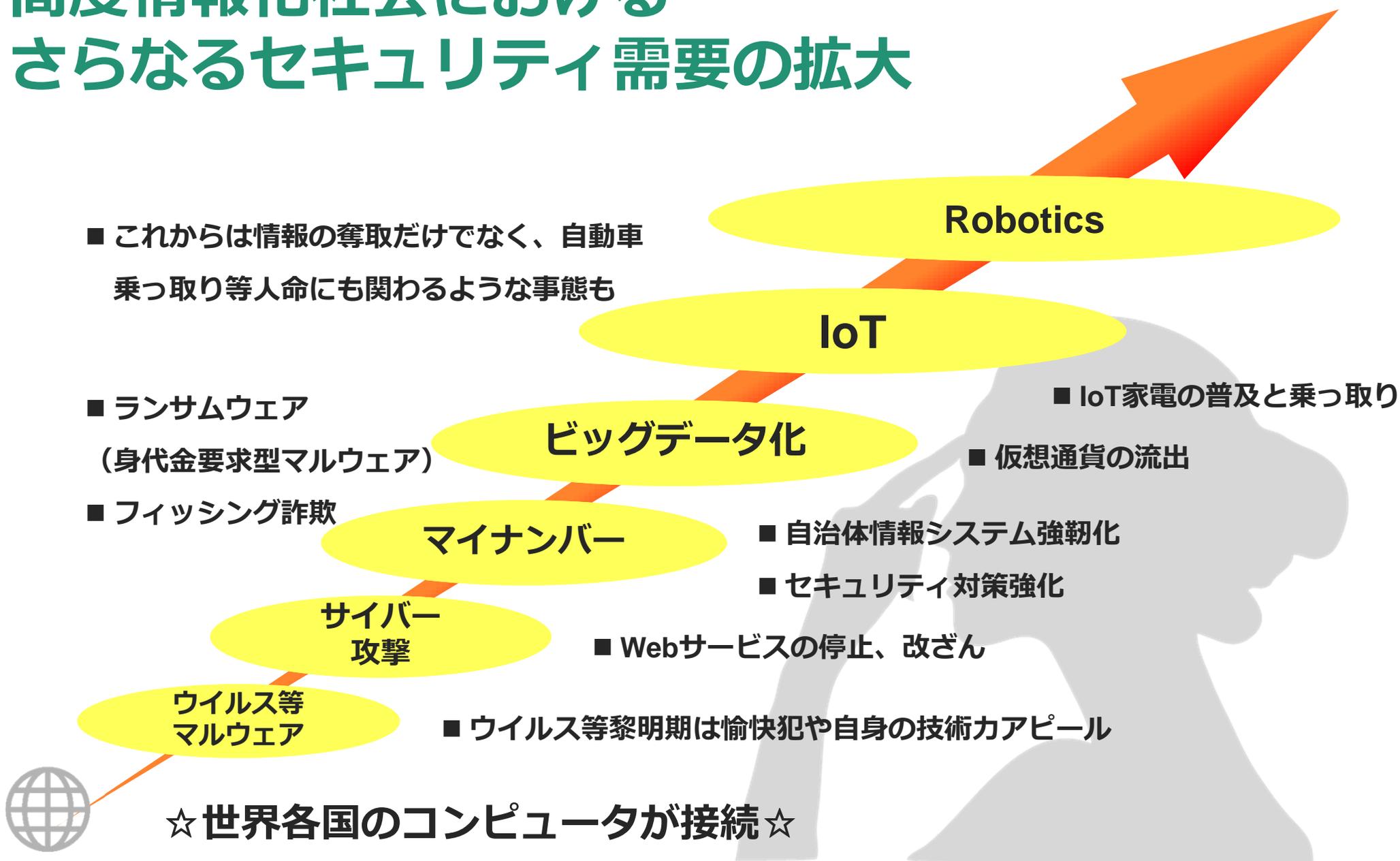
年 2 桁以上の成長を 3 期連続達成

東京証券取引所 本則市場（第二部）へ上場予定

1 株あたり年間配当金 10円を予定

事業環境

高度情報化社会における さらなるセキュリティ需要の拡大



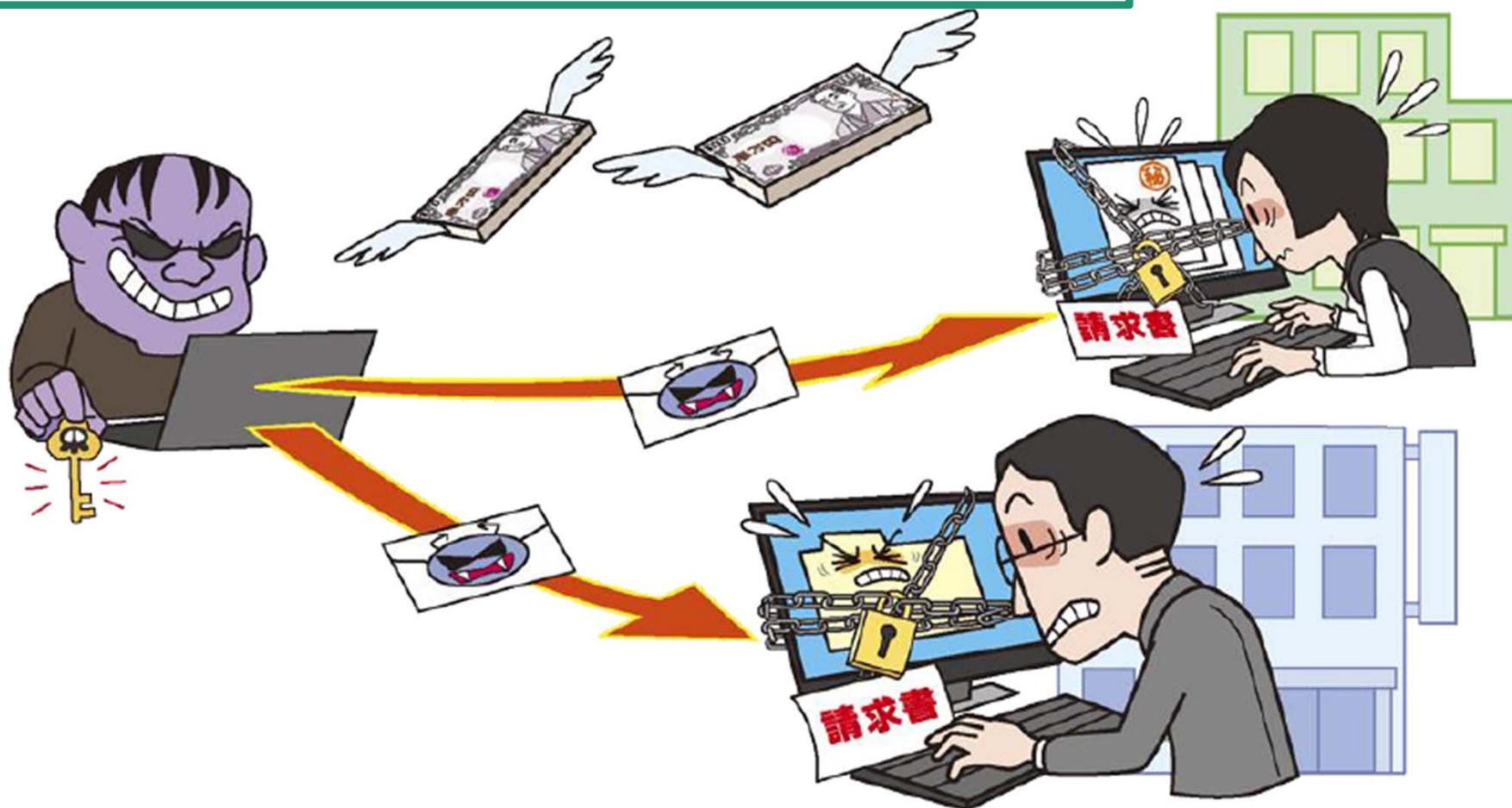


①メールの添付ファイル等を利用して
パソコンにウイルスを感染させる

②その感染したパソコンを遠隔操作して
別のパソコンにウイルスを感染させる

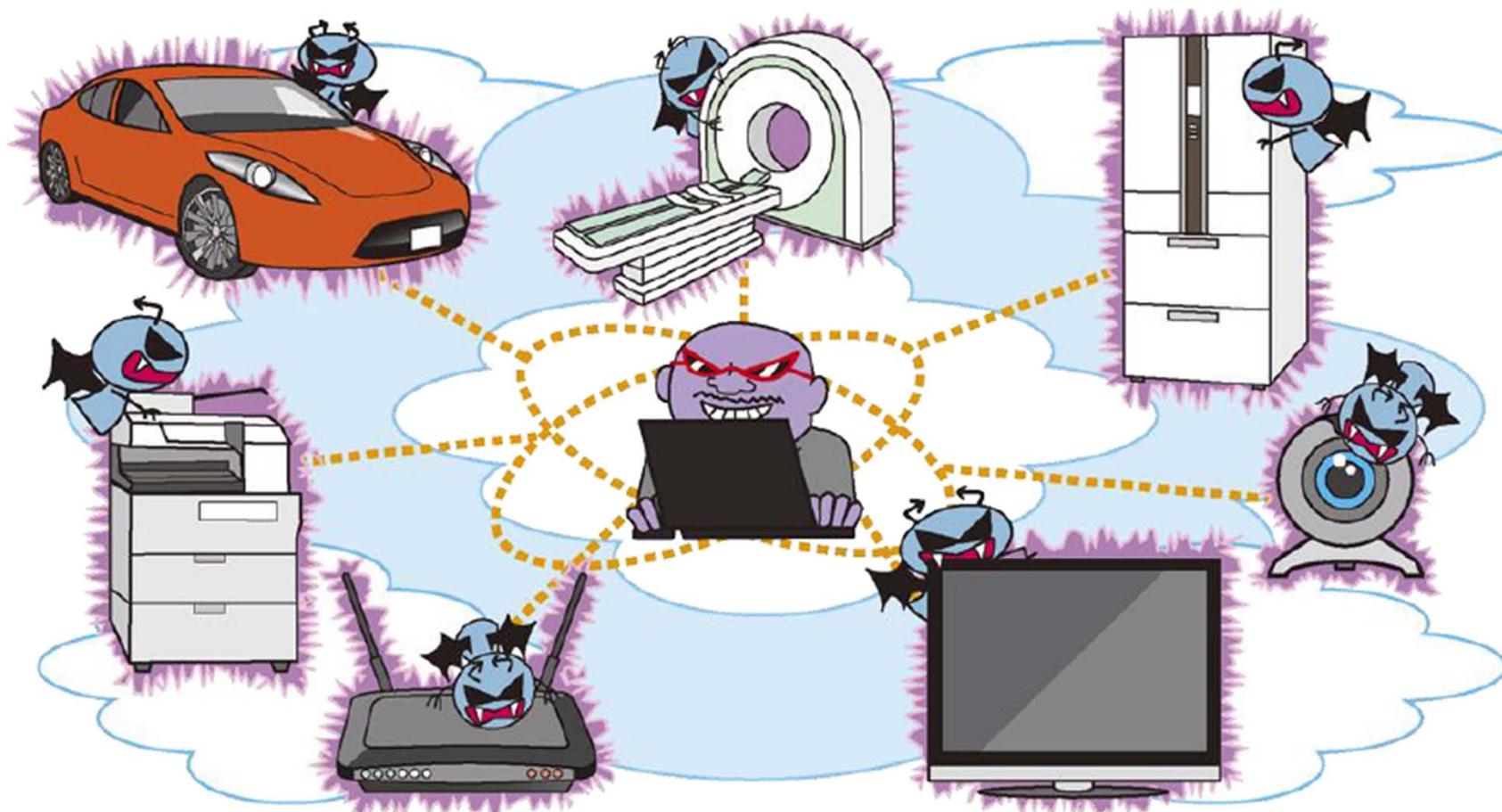
③最終的に個人情報や業務上の重要情報を窃取する

① ウイルスを用いて、パソコンやスマートフォンにあるファイルの暗号化や画面のロックを行う



② 復旧させることと引き換えに金銭を要求する

これまでネットワークにつながるものが想定されていなかった機器が、急速にインターネット上でつながるように（モノのインターネット化：IoT）



これらIoT 機器の普及スピードにセキュリティ対応が追いつかず、攻撃が近年増加

出所：独立行政法人情報処理推進機構(IPA) 「情報セキュリティ10大脅威」(組織)



2020年
東京オリンピック
パラリンピック

政府は内閣サイバーセキュリティセンターを設置 国策として情報セキュリティ対策を推進



出典：「2016年度 セプターの活動状況について」

「サイバーセキュリティ対策の強化に向けた対応について（追加説明資料）」

「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第4次行動計画」の概要

(2017年3月内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター)

(2017年6月内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター)

(2018年7月内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター)

経団連サイバーセキュリティ経営宣言

※一部抜粋

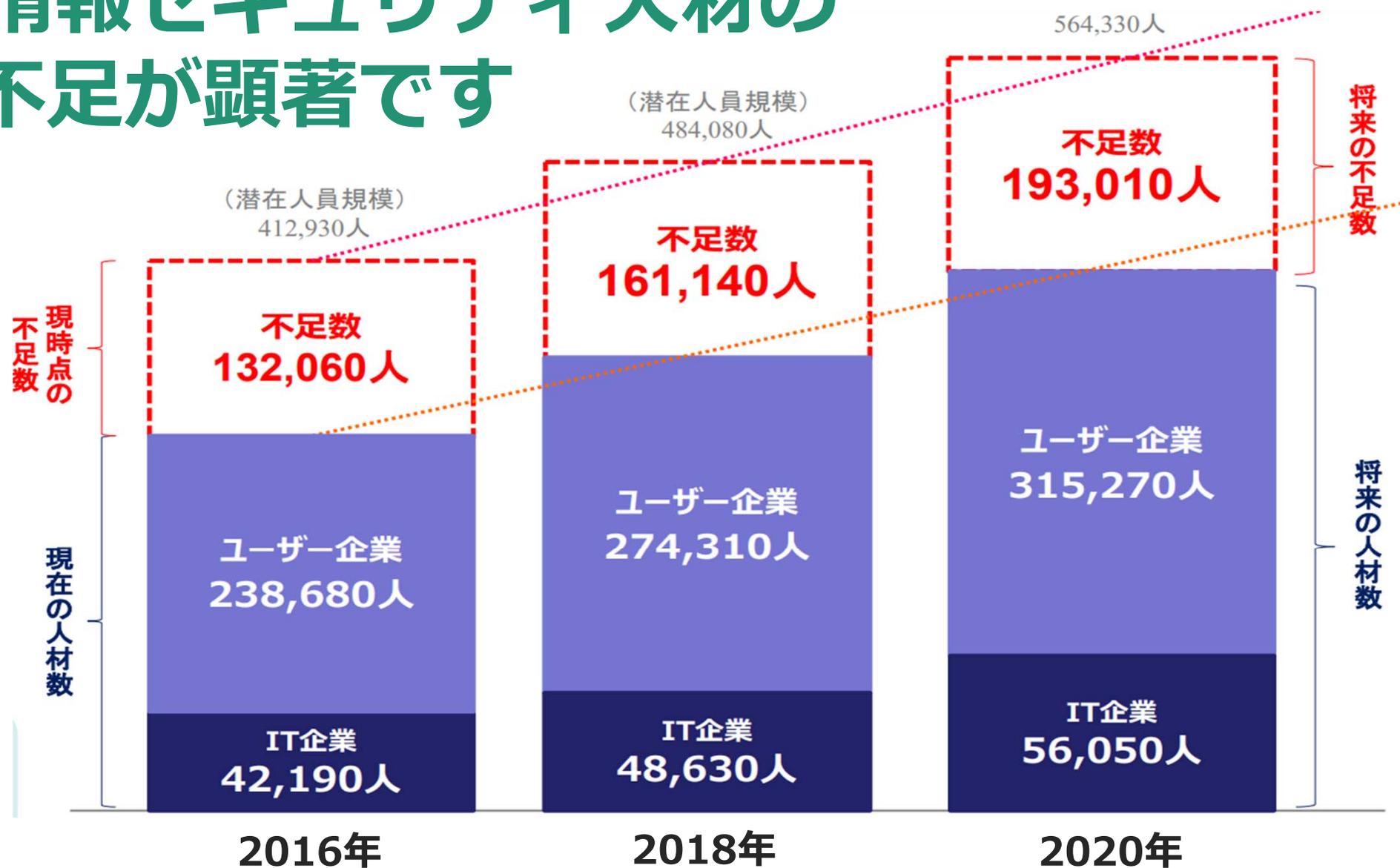
重要インフラの多くを担い、さまざまな製品やサービスを提供する経済界は、主体的に対策を講じる必要性を強く自覚する。



1. 経営課題としての認識
2. 経営方針の策定と意思表示
3. 社内外体制の構築・対策の実施
4. 対策を講じた製品・システムやサービスの社会への普及
5. 安心・安全なエコシステムの構築への貢献

出所：「経団連サイバーセキュリティ経営宣言」（2018年3月 一般社団法人日本経済団体連合会）

情報セキュリティ人材の不足が顕著です



出所：経済産業省 2016年6月 「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」

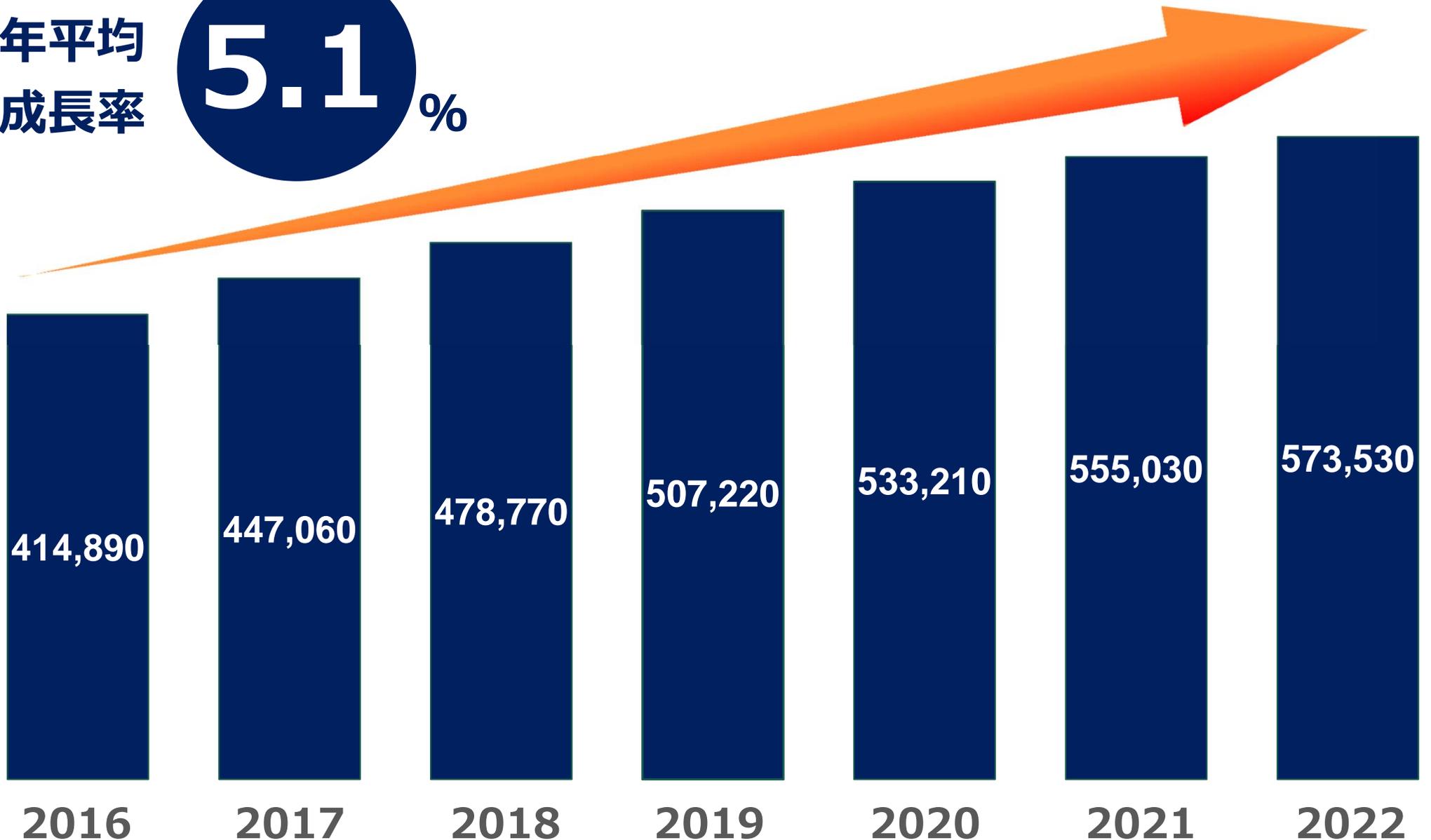


**AI/自動化による
セキュリティ技術者の不足を
補うとともにコスト削減**

単位：百万円

年平均
成長率

5.1%

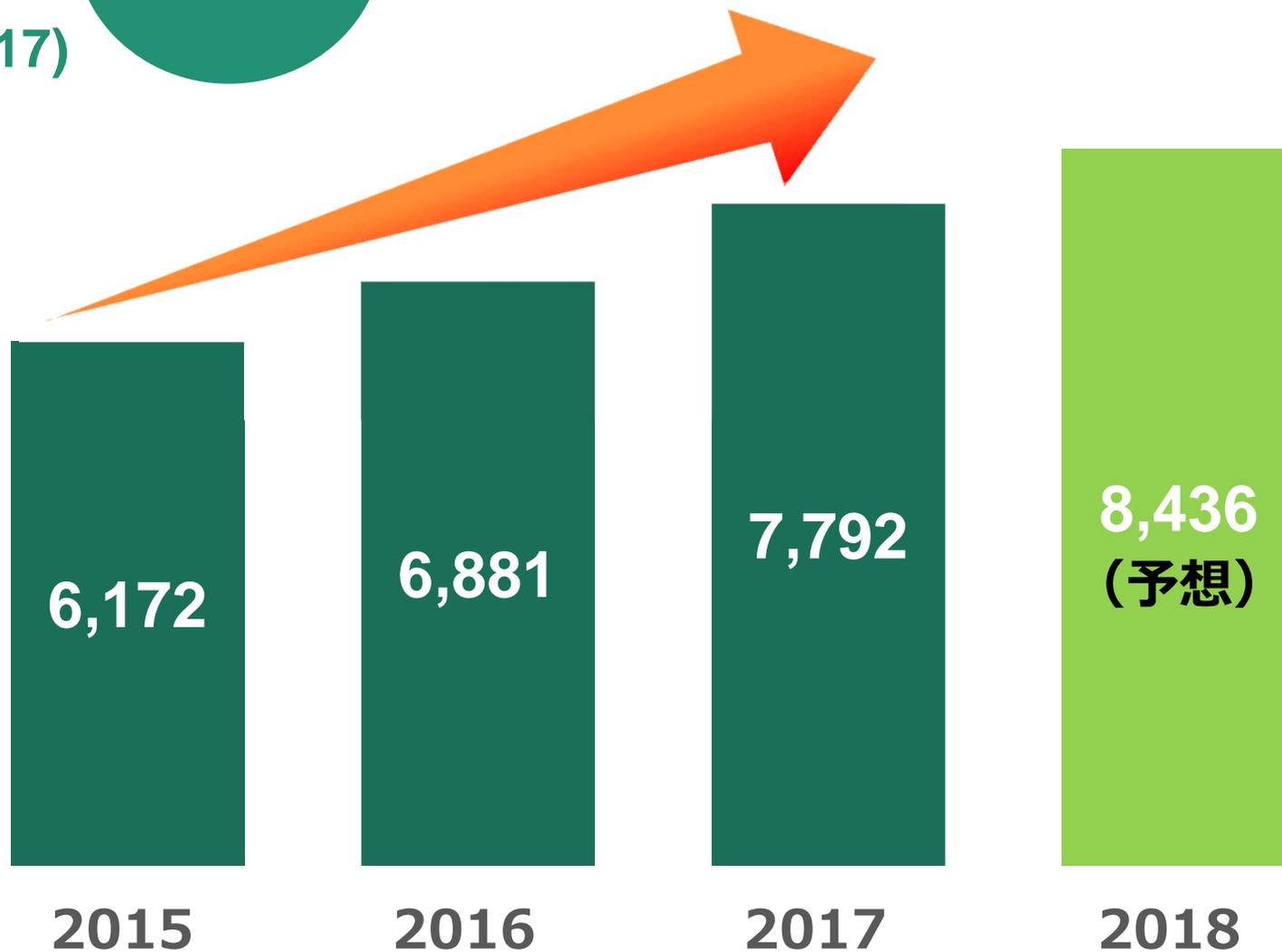


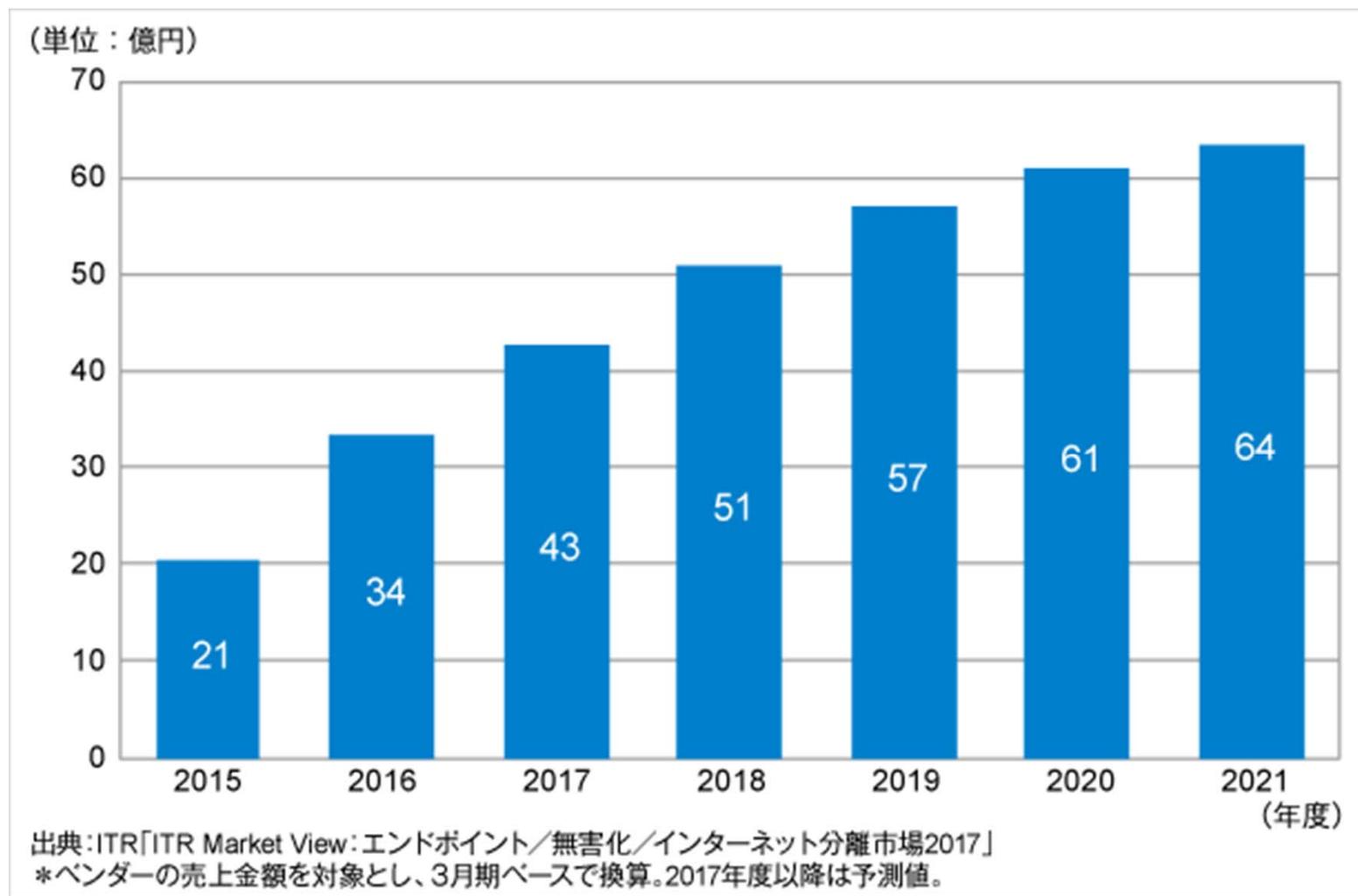
出所：富士キメラ総研「2018 ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」

単位：百万円

3期連続
(2015~2017)

2ケタ 増収





自社製品 **SCVX** が属する
インターネット分離市場も今後さらなる拡大が見込まれます

事業概要



グループ社員数
378名
うち7割超
技術者



ジェイズ・
コミュニケーション(株)



ファルコンシステム
コンサルティング(株)



ジェイズ・
テレコムシステム(株)



ジェイシーテクノロジー(株)



ジェイズ・
ソリューション(株)

ソリューションプロダクト

ネットワーク
セキュリティ製品

ITインフラ
製品

セキュリティ、ITインフラ製品を
組み合わせたソリューション提供
システムインテグレーション

ソリューションサービス

設計及び構築
サービス

保守
サービス

ヘルプデスク
サービス

その他
(監視・派遣等)

IT技術者 SEサービス

事業概要：当社グループが有する3つの顔

メーカーとして (ソフトウェア製品)

ソフトウェアライセンス販売
サポートサービス

自社製品

サポート
サービス

代理店(VAD)として 海外、国内

製品、ソフトウェアライセンス販売
サポートサービス・ヘルプデスク
オンサイト保守サービス

製品
代理店

サポート
サービス

システム インテグレータとして

ITインフラ、セキュリティ等の
設計構築、導入サービス

自社製品

サーバ等
H/W,S/W

製品
代理店

プロフェッショナル
サービス
設計、構築

プロフェッ
ショナル
サービス

プロフェッ
ショナル
サービス

プロフェッ
ショナル
サービス

SEサービス
請負い、派遣

SE
サービス

SE
サービス

SE
サービス

マネージド
サービス
監視、管理等運用

マネージド
サービス

マネージド
サービス

マネージド
サービス

なぜ、海外製品？

軍事、テロ、ハッカーの脅威と日々戦い続ける欧米諸国は情報セキュリティやITインフラ分野でグローバル先進国です

私どもはこれらの海外の最先端のソフトウェア等を輸入し国内市場へ価値を付加して提供しております。





Partner Of The Year, Japan 2017



APAC Distributor Of The Year 2017
Distributor Of The Year, Japan
2012-2017



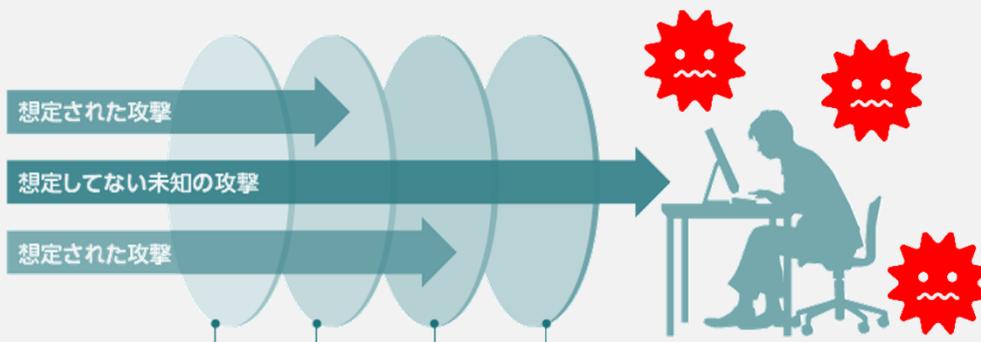
RAPID7

Partner Of The Year, Japan 2017

SOPHOS

Partner Of The Year, Japan 2017
Best Technology Award 2017

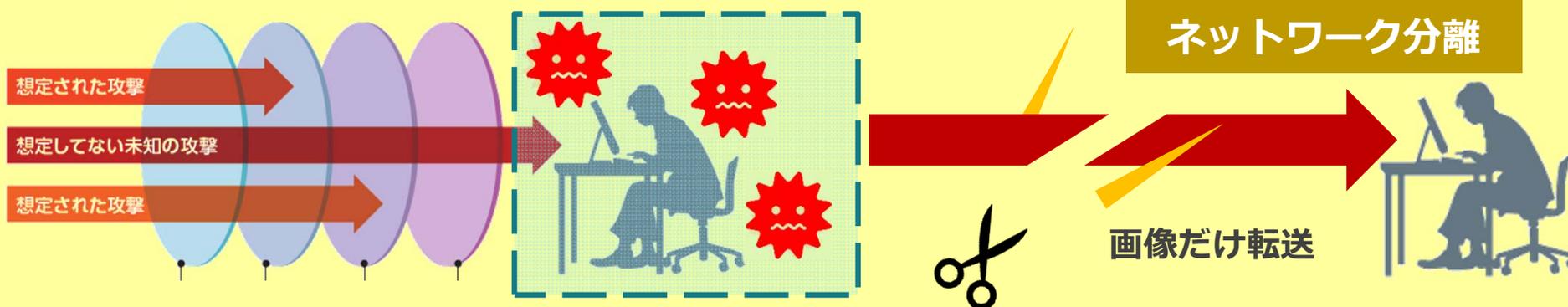
従来型のセキュリティ



企業における情報セキュリティ対策
特にインターネットセキュリティは、
「いたちごっこ」の状態

SCVXによるセキュリティ

侵入されない防御から侵入される前提の防御へ



- ① 攻撃を受けたとしても、その影響は仮想コンテナのみにとどまり、自身のPCは無傷
- ② 自身のPCのブラウザを落とすと仮想コンテナもマルウェアごと消滅

仮想ブラウザ（インターネット分離ソリューション）

SCVX

都道府県・市区町村 自治体、教育委員会

金融機関 : 銀行・証券会社・リース会社・保険業

医療機関 : 病院

製造業 : 自動車メーカー系グループ会社

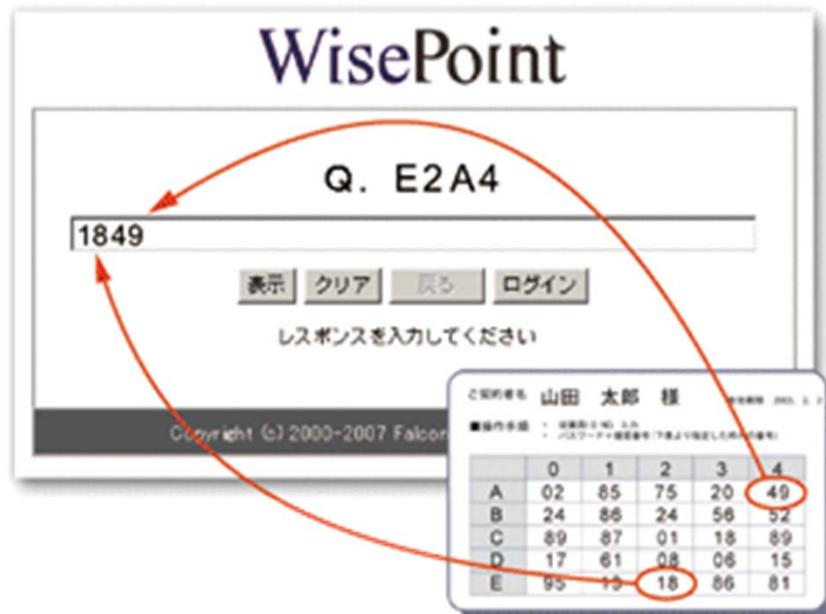


※上記は導入事例の一部です



WisePoint

セキュリティと利便性を両立する
認証ソリューション



自社製品 SCVX との 研究開発・連携の強化



グループ社員数
378名
7割超が
技術者
(2018年9月末現在)

我が国の法人が具体的に直面する脅威

提案できる問題解決策

1位 標的型攻撃による情報流出

SCVX JUNIPER NETWORKS SOPHOS

2位 ランサムウェアによる被害

SCVX JUNIPER NETWORKS SOPHOS

3位 ビジネスメール詐欺による被害

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

4位 脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加

RAPID7

5位 脅威に対応するためのセキュリティ人材の不足

DARKTRACE RAPID7
JCTechnology

6位 ウェブサービスからの個人情報の窃取

Barracuda RAPID7

7位 IoT機器の脆弱性の顕在化

JUNIPER NETWORKS

8位 内部不正による情報漏えいとそれに伴う業務停止

DARKTRACE

9位 サービス妨害攻撃によるサービスの停止

JUNIPER NETWORKS SOPHOS

9位 攻撃のビジネス化(アンダーグラウンドサービス)

GSX
GLOBAL SECURITY EXPERTS

出典：「独立行政法人情報処理推進機構(IPA)2018年4月 「情報セキュリティ10大脅威 2018」 (組織)

来期以降の 展望

▶ 2019年も取扱製品を拡大し続けます

2017



DARKTRACE



Diamond IP

2018



2019



長年積み上げた海外メーカーからの信頼
技術トレンドを捉えた新製品の投入
テストマーケティング新規商材本格展開

- ▶ 自社製品の代理店体制を強化します
- ▶ SCVXの使い勝手をさらに追究します



インターネットがつながるところ
どこでもSCVXを使っていただけのようにすることで
導入を加速させ 商機拡大を図ります

▶ 当社の強みを活かして 技術者採用を強化します



技術者レベル	特徴
初級	<ul style="list-style-type: none">エンジニア未経験者を人間性重視で積極採用充実した教育制度と実践の中で成長し戦力化能力に応じた多様なキャリアプランを用意
	<ul style="list-style-type: none">当社技術責任者が専門学校で教科選定委員として就任 中度専門レベルを有した人材を安定採用
上級	<ul style="list-style-type: none">新規上場・本則市場への市場替えによる 信用度・認知度向上に伴い、即戦力の経験者採用が進む

▶ GSX との協業を強化します

GLOBAL SECURITY EXPERTS

技術者教育に積極投資

GSX社の教育プログラムを用いて
技術者の国際的資格CNDの取得



セキュリティコンサルに
強みを持つGSX社との連携で

商機の拡大

▶ ストックビジネスをさらに伸ばします

✓ 前受金の推移

ソリューションサービスのうちストック性のある将来売上を測る指標

	2017.12 3Q	2018.12 3Q	増減額
流動資産	4,049	4,445	396
現金・預金	1,948	1,895	△52
受取手形 及び売掛金	1,169	1,003	△165
たな卸資産	367	538	171
その他	564	1,007	442
固定資産	450	1,003	553
有形固定資産	158	180	21
無形固定資産	46	180	134
投資その他資産	245	642	397
資産合計	4,500	5,449	949

	2017.12 3Q	2018.12 3Q	増減額
流動負債	2,492	2,775	283
買掛金	863	883	19
短期借入金等	79	—	△79
前受金	1,101	1,444	342
その他	446	447	0
固定負債	193	231	38
負債合計	2,685	3,007	321
純資産合計	1,814	2,442	628
負債純資産合計	4,500	5,449	949

社名の由来

Segueとは

「Next」 「続く (to be continued)」 「間断なく進行する」
「同盟」 「友」という意味

これからの業界を担うべく、同業企業の仲間を結集し
業界における中核企業グループを目指します

次の高みに向かって絶え間なく進歩し続ける
今後のセグエグループにどうぞご期待ください

成長戦略

市場、社会より求められる企業グループへ

- サービス高度化、情報セキュリティ技術者の育成
- 自社開発（SCVX,WisePoint）の推進
- AI等最新技術セキュリティソフトウェアの取扱い
- IT&セキュリティコンバージョンビジネス
- 業界トップクラスの企業へ戦略的な取り組み



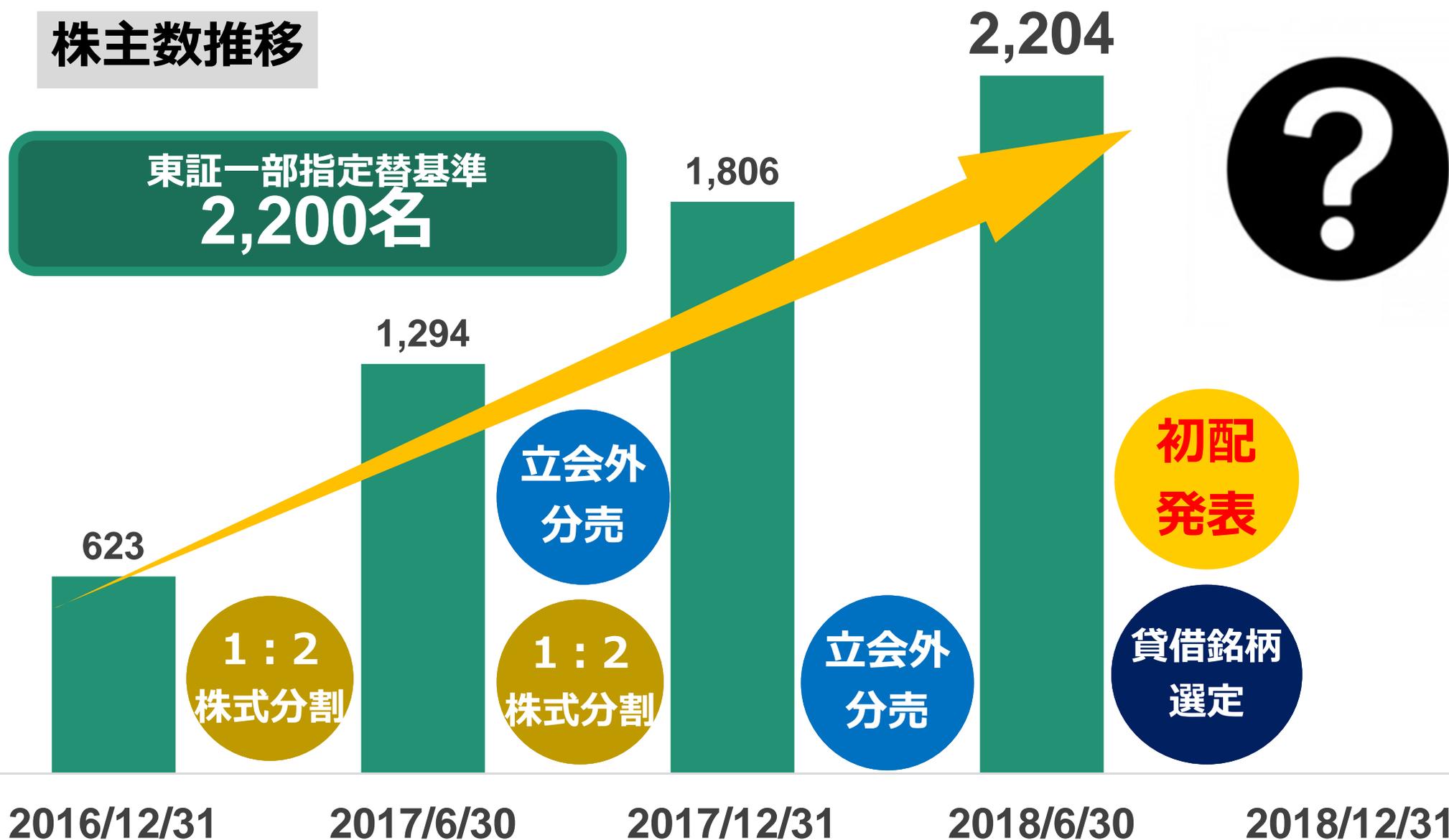
- ▶ **セキュリティ ITインフラ クラウド関連企業との協業を進めます**
- ▶ **M&Aの積極展開します**



東証一部への早期指定替を目指します

株主数推移

東証一部指定替基準
2,200名



2018年12月期の通期業績
2019年12月期の業績見込

2019年

2月13日に発表！

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

IRについてのお問い合わせ先

セグエグループ株式会社

TEL 03-6228-3822

<https://segue-g.jp/ir/contact/>